

日本二普協ニュース

No. 124
令和2年1月発行



一般社団法人
日本二輪車普及安全協会

日本二普協のアンバサダーに 「梅本まどか」さんが就任しました



◆目次◆

□令和2年 年頭のごあいさつ	
伊東 孝紳 日本二普協 会長	2
北村 博文 警察庁 交通局長	3
□アンバサダー「梅本まどか」さんのご紹介	4
□「二輪車安全運転全国大会2020」「G防普及促進月間」のご案内	5
□令和元年度 活動状況	
安全本部 安全普及部	6
安全本部 G防推進部	7
流通環境本部 流通業務推進部	8
流通環境本部 モーターサイクリススポーツ推進部	9
★令和元年度 陸運関係功労者・従事者表彰	10
□警察庁 交通局長 北村 博文 様 からの挨拶状	12

□都府県地区支所会長・事務局長会議	
会長 挨拶 伊東 孝紳 日本二普協 会長	13
来賓ご挨拶 日下 真一 警察庁 交通局 運転免許課長	14
★令和元年度 日本二輪車普及安全協会 会長表彰	15
★意見交換会	
会長 挨拶 伊東 孝紳 日本二普協 会長	18
来賓ご挨拶 野村 朋美 警察庁 生活安全企画課 犯罪抑止対策室長	19
乾杯ご挨拶 荒井 俊一 府中二輪車安全普及協会 会長	20
□統計DATA	
都道府県別二輪車乗車中死者数	21
グッドライダー・防犯登録状況	22
二輪車盗難認知及び被害回復状況	23

年頭のごあいさつ

安全、安心、より快適な二輪車の利用と 環境の改善を目指し、各種活動を推進

会長 伊 東 孝 紳



明けましておめでとうございます。皆様、良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から、当協会の諸活動に多大のご理解とご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

新年に当たり、当協会が本年取り組みます事業につきまして5点ばかり申し述べたいと思います。

第一は、「二輪車の安全運転普及活動」についてです。

昨年の全国の二輪車乗車中の交通事故による死者数は510人で、前年同期より103人減少しました。車種別では、自動二輪車乗車中が361人で前年同期より40人の減少、原付自転車乗車中が149人で前年同期より63人の減少でいずれも減少となっていますが、都道府県別でみますと13道府県の二輪車乗車中の死者数は前年同期より増加しており、予断を許さない状況にあります。

そこで当協会では、原付をはじめ二輪車乗車中の交通事故を抑止して二輪車利用の一層の普及を図るため、グッドライダーミーティングをはじめ高齢者、女性、高校生等に対する安全運転講習を計画的に推進することにしております。

第二は、「二輪車安全運転全国大会2020」の開催です。

本年9月20日(日)、21日(月・祝)の両日、三重県下鈴鹿サーキット交通教育センターにおいて「二輪車安全運転全国大会2020」を開催いたします。

この大会は、これまで全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会が主催して開催してきました二輪車安全運転全国大会が平成29年8月の第50回大会を最後に終了となりましたので、その伝統と実績を引き継ぎ、1年間のブランクを挟んで復活させ、昨年8月に第1回大会を開催しましたが、その第2回大会となります。

当協会が主催者となってこの大会を開催することとしたのは、大会が開催されることにより大会への出場を目指すユーザーが都道府県大会に出場し、安全運転技能を競い合うことが一つの契機となり、当該都道府県における安全運転技能向上に向けた活動が活発に展開されることになることを大いに期待しているからであります。

関係機関・団体のご理解と温かいご支援、ご協力もいただきながら、開催趣旨に沿った大会として開催出来るよう努めてまいりたいと考えています

第三は、「二輪車の防犯活動」についてです。

警察のご指導を得て、グッドライダー・防犯登録制度を運用していますが、こうした優れた制度が多くユーザーをはじめ販売店、更には警察官にもあまり知られていないと考えられますので、本年も4月から6月までの3か月間、「グッドライダー・防犯登録普及促進月間」を実施いたします。

当協会としては、グッドライダー防犯登録の一層の普及と登録実施を促進し、ユーザーの大切な二輪車の盗難被害の防止と盗難に遭った場合の早期発見、被害回復を図り、二輪車の普及と安全、安心な二輪車利用の一層の普及に努めてまいります。

第四は、「利用環境の改善」及び「流通環境の整備推進」についてです。

二輪車の駐車場整備等二輪車の利用環境の改善に向けて関係団体と連携して、関係機関に働きかけるとともに、ユーザーに対し駐車場利用啓発等を行ってまいります。また、グッドマナー ジャパンライダーズ宣言の推進などによりライダーの安全やマナーに対する意識の向上を図り、社会における二輪車のイメージアップを図り、二輪車利用の一層の普及を図ってまいります。

併せて関係団体と連携して自動車公正取引協議会未加入の販売店に対する入会促進や二輪品質評価者講習会への受講を促進し「二輪車公正競争規約」の普及を図ってまいります。

第五は、「楽しさを訴求するイベントの開催等」と「モーターサイクルスポーツの普及促進」についてです。

二輪車の楽しさを広く訴求するため、バイク月間中のイベントをはじめとする各種イベントを積極的に開催または後援してまいります。

また、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会と連携し、モーターサイクルスポーツの普及促進を図ってまいります。

以上、当協会が取り組みます主な事業とその方針をご紹介いたしました。私共は今後とも安全、安心、より快適な二輪車の利用と環境の改善を目指し、二輪車ユーザーの利用の輪が一層広がるよう活動を推進してまいります。

皆様方のお一層のご理解とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

政府目標である「世界一安全な道路交通の実現」 に向け、各界各層と連携し諸対策を推進

警察庁交通局長 北 村 博 文



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、平素から交通警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、グッドライダーミーティング等による交通安全講習や各種交通安全啓発活動により、二輪車運転者に対する交通事故防止及び交通安全意識の高揚に多大な貢献をされておりますことに、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、昨年の交通事故による死者数は3,215人で、3年連続で戦後最少を更新しました。また、原付乗車中を含めた二輪車乗車中の死者数についても、昨年と比べて大きく減少しております。これもひとえに、皆様方を始めとする関係各位の御尽力のたまものであり、改めて感謝申し上げます。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることに変わりはなく、子供が犠牲となる痛ましい事故も依然として後を絶ちません。こうした状況を受けて、政府は昨年6月に緊急対策を決定し、未就学児等の子供や高齢運転者の交通安全対策に取り組んでいるところです。

警察といたしましても、これらの取組に重点を置きつつ、本年が最終年となる第10次交通安全基本計画に基づき、政府が目標とする「世界一安全な道路交通の実現」に向け、各界各層と連携しながら、交通安全教育、交通指導取締り、交通安全施設等の整備、先端技術の普及活用等の諸対策を着実に推進していくこととしております。

現下の厳しい情勢の中で交通事故抑止の効果を上げるためには、警察と関係機関・団体が連携を一層強化し、官民一体となって取り組んでいくことが不可欠と考えております。

貴協会におかれましては、グッドライダーミーティング等による交通安全講習や交通安全啓発活動を一層推進していただき、安全で快適な交通社会の実現に向け、今後とも御協力を賜りますとともに、グッドライダー防犯登録を通じた二輪車運転者の防犯意識の醸成にもご尽力をお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

日本二輪車普及安全協会のアンバサダーに 元SKE48の 梅本まどかさんが 就任しました

2020年1月1日より、日本二輪車普及安全協会のアンバサダーに元SKE48の梅本まどかさんが就任しました。梅本さんはSKE48でのアイドル時代を経て、現在は地元名古屋を拠点にタレントとしてマルチに活動中。名古屋の魅力をPRする名古屋観光文化交流特命大使として、様々な名古屋の魅力を発信しつつ、WRC招致応援団に参加し、WRC日本開催をPRするなど、モータースポーツ関連のメディアや、スポーツ、チアリーディングなど幅広い分野で活躍しています。

これから、日本二普協の主催するイベント等、様々な形で活動頂きますのでぜひ会いに来てください。

梅本さんのプロフィールやインタビュー、アンバサダーとしての活動報告は下記よりご覧いただけます。

<https://www.jmpsa.or.jp/ambassador/>

日本二普協 アンバサダー

検索



©月刊オートバイ、webオートバイ/モーターマガジン社

「二輪車安全運転全国大会2020」を開催します。

－2020年9月20日(日)・21日(月・祝)・鈴鹿サーキット交通教育センターに於いて－

■目的：本大会は、二輪車運転者の安全運転技能と交通マナーの向上を図ることにより、二輪車の交通事故を防止するとともに、二輪車の普及、安全利用を促進することを目的に開催します。

■主催：一般社団法人日本二輪車普及安全協会

■大会日程

9月20日(日) 開会式 12:00～12:20 競技 12:30～16:00

9月21日(月・祝) 競技 8:00～11:00 表彰式 13:00～13:40

■競技クラスとその競技車両

(1) 高校生等クラス 原付一種(50cc) (2) 女性クラス 原付二種(125cc)

(3) 普通二輪クラス 普通二輪(400cc) (4) 大型二輪クラス 大型二輪(1100cc)

■競技種目

(1) 法規履行走行競技 (2) 技能走行競技：極小バランス、応用千鳥、コーススラローム、ブレーキング、コンビスラ

■出場資格

各都道府県の交通安全協会等が開催する大会の成績優秀者で、大会会長の推薦がある方。

(各都道府県各競技クラス1名)

※都道府県大会の情報については、各都道府県の交通安全協会にお訪ねください。



開会式での宣誓



応用千鳥競技の審判風景



団体優勝チームの表彰

「G防登録普及促進月間」を実施します。

グッドライダー・防犯登録(G防登録)について、二輪車ユーザーをはじめ社会の認知度を高め、登録の一層の普及促進を図るため4月1日から6月30日の3ヶ月間「G防登録普及促進月間」を実施します。

「G防登録普及促進月間」の実施に当たっては、二輪車販売店並びに全国の警察本部及び警察署に、G防登録普及促進月間ポスター、G防登録三つ折りリーフレットを送付しますので、ポスターの掲示、リーフレットの活用をお願い致します。

※G防登録(グッドライダー・防犯登録)とは

G防登録は、日本二輪車普及安全協会が警察庁のご指導のもとに実施している二輪車の盗難抑止と万が一盗難にあった場合の早期被害回復を図るためのシステムです。販売店において登録されたデータは警察庁に提供し、警察庁が全国警察のオンラインシステムでデータ照会出来るようになっています。現場の警察官は不審な二輪車や放置二輪車などがあれば、このデータ照会システムを使って24時間いつでもどこからでも、その所有者確認を行うことが出来るようになっています。

※G防登録(グッドライダー・防犯登録)のメリット

1. 盗難抑止…車体の目につきやすいところに登録番号ステッカーを貼っていますので、警察官はその番号照会をすれば真の所有者が分かり、盗難抑止につながります。
2. 被害回復…車体に貼られた登録番号ステッカーの照会により真の所有者がわかり、盗難車両の早期発見につながります。
3. 講習会参加…二輪車の安全運転講習会であるグッドライダーミーティングに参加出来ます。

事業活動状況

安全本部 安全普及部

■令和元年中の二輪車乗車中交通事故死者数

令和元年中の全国の交通事故による死者数は3,215人で前年同期比317人の減少となりました。この内、二輪車乗車中の死者数は510人で前年同期比103人の減少、車種別では原付乗車中が149人で前年同期比63人の減少、自動二輪車が361人で前年同期比40人の減少といずれも減少でありました。

■グッドライダーミーティングの開催

初心運転者等、二輪車の運転に不慣れで安全運転に不安のある運転者や運転技能を高めたい運転者を対象として実施している体験型運転実技講習会であるグッドライダーミーティング（以下「Gミーティング」という。）は、本年度、全国で111回の開催を計画し、12月末迄に106回を開催し、5回は悪天候等により中止となりました。受講者総数は3,444名でした。

本年度は、女性のみ対象のレディースGミーティングを12回（宮城、東京、茨城、埼玉、千葉、神奈川、山梨、富山、愛知、大阪、兵庫、愛媛）、高齢者を対象としたGミーティングを2回（青森、宮城）開催しました。警察（警察官379人、白バイ246台）及び交通安全協会（二推199人）との連携、協力を得て、例年と同様に概ね計画通りに実施することが出来ました。ありがとうございました。

来年度も、全都道府県においてGミーティングを開催するため、各都道府県の規模等に応じた開催計画を策定するとともに、講習内容の標準化を目指します。

具体的には、以下の事項を重点に取り組むこととします。

- ・交通事故死傷者の割合が高い、初心運転者、若者、高齢者、リターンライダー等の参加を促進する。
- ・販売店からの申し込みを第一とするも、Webからの申し込みも併用していく。
- ・女性、高齢者、高校生等の層別開催を推進する。
- ・Gミーティング指導員マニュアルに基づいた指導方法、運営方法の徹底を図る。
- ・指導員のレベルアップ研修会を実施して講習内容の充実、高度化を図る。
- ・受講者アンケート調査を実施し、結果を分析して今後の講習内容に反映させ、講習の一層の充実を図る。

■高校生に対する安全運転教育の積極的推進

日本自動車工業会から「高等学校交通安全教育振興事業」の委託を受け、原付車両による通学を許可されている高校生に対して運転実技講習を実施しています。これは二輪車の運転に係る交通ルールとマナーの習得及び運転技術の基本の習得を目的としたものです。

特に、埼玉県においては、県立高校での三ない運動が廃止されて、交通安全教育の推進に転換されたことに伴い、県教育委員会からの要請を受け、令和元年7月から12月の間に6回、293人の高校生に対し、安全運転実技講習を実施しました。この他、各支所において、関係機関団体と連携し、高校生に対し二輪車の安全運転教育を実施しました。



高校生の安全運転実技講習風景

事業活動状況

安全本部

G防推進部

二輪車の盗難抑止と盗難二輪車の早期発見、市場流通の防止、被害回復及び二次犯罪の防止を図るため、グッドライダー・防犯登録（以下「G防登録」という。）及び二輪車盗難照会システムの普及促進を行っています。

■グッドライダー・防犯登録の推進

令和元年中の全国のG防登録件数は228,245件でした。都道府県別に令和元年中の登録件数をみると、計画通り前年の5%増となったのは北海道・青森県・岩手県・山形県・栃木県・新潟県・石川県・福井県・岐阜県・三重県・鳥取県・長崎県・大分県の13道県で、また、前年同期比で増加となったのは、北海道・青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・千葉県・新潟県・石川県・福井県・岐阜県・三重県・鳥取県・徳島県・高知県・福岡県・長崎県・大分県・宮崎県・沖縄県の22道県でした。

令和元年度も、G防登録の減少に歯止めをかけ、G防登録の認知度向上と一層の普及促進を図るべく、4月1日（月）から6月30日（日）までの3ヶ月間「G防登録普及促進月間」を実施しました。結果は64,127件（前年比99.9%）で概ね横ばいとなりました。警察、銘柄卸販社、オートバイ事業協同組合等の後援、協力を得て、G防登録制度についての認知度向上と普及促進を図ることが出来ました。

また、新たな取組みとして中古車専門販売店にも働き掛けを実施し、(株)アップルにおいてG防取扱いが開始されました。来年度も、前年度登録実績の5%増を目標にG防登録の一層の推進を図って参ります。

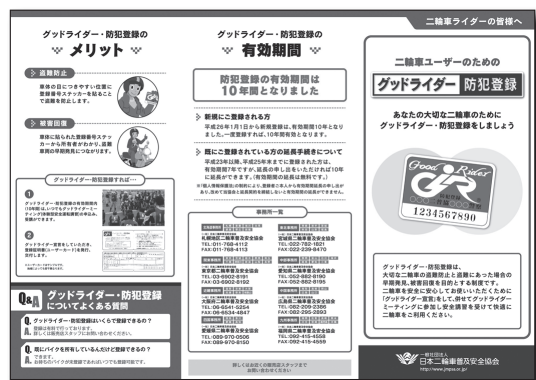
具体的には、

- ・都道府県オートバイ事業協同組合に対するG防登録参入の働きかけ
- ・中古車専門販売店に対する新規G防登録参入の働きかけ
- ・G防登録普及促進月間の実施（4月～6月の3ヶ月間）
- ・G防登録制度の広報強化

に取組みます。皆様のご支援、ご協力をお願い致します。



G防普及促進月間ポスター



認知度向上のためのリーフレット

■盗難照会システムの運用

警察が保有する盗難二輪車情報の提供を受けて、販売店等が取扱う二輪車が盗難車かどうかの確認が出来るようにするため、二輪車盗難照会システムを運用しています。

令和元年11月末時点での全国の二輪車盗難認知件数は10,447件、被害回復件数は4,681件となっており盗難認知件数の減少傾向が続いているものの、盗品等が市場に流通することがないように引き続きシステムの利用促進を行い、適正な流通環境に寄与して参ります。

来年度計画している新たな取組みは、

- ・オークション会場に、日本二普協ブースを設置し、盗難照会システムの紹介と利用促進を行う。
- ・各ブロック、支所においては、未加入販売店に対して加入の働きかけを行う。

に取組みます。

事業活動状況

流通環境本部 流通業務推進部

■「BIKE LOVE FORUM in やまなし」が開催されました。

「BIKE LOVE FORUM（略称 BLF）開催実行委員会」（経済産業省・地方自治体・二輪関連団体等で構成）は去る 9 月 20 日に山梨県甲府市「ベルクラシック甲府」において「第 7 回 BIKE LOVE FORUM in やまなし」を「セーフティーライディングで自然を楽しもう」をテーマに開催いたしました。

当日は、バイク文化の創造に向けたトーク対談やパネルディスカッションなど、議論が行われ、特にパネルディスカッション「やまなしを楽しくセーフティーライディング」では日本二普協を始めとした関連団体や有識者、県職員などが参加し、山梨県における交通安全対策の事例を紹介、道の駅での安全啓発活動や原付免許保有率が全国トップクラスにある同県での高校生への安全運転教育の重要性などが議論されました。

日本二普協では、三ない運動の見直しを受けた、埼玉県での交通教育の事例を紹介、「学校に隠れて乗るような生徒がいなくなり、交通教育とはかけ離れたような生徒もオープンな形で参加いただけるようになった」旨の報告をするなど、関係者が一体となって取り組む重要性の認識を共有しました。



■セーフティーライディングやまなしが沢山の方の参加を頂き終了いたしました。



第 7 回 BLF in やまなしを記念して開催された「セーフティーやまなしツーリングキャンペーン」は、多くの皆様に山梨県内のおすすめスポットを巡って頂き、沢山のご応募を頂き終了いたしました。

キャンペーンの各種賞品は厳正なる抽選を行い、当選者の方にお送りさせて頂きました。大変ありがとうございました。

■グッドマナー JAPAN RIDERS

本年度も NEXCO 各社や道路公社など実施した「ツーリングプラン」にご協力を頂くとともにイベントなどでのモバイルを利用したマナーアップ宣言を推進したことで大きく認知度向上につなげることが出来ました。令和元年 12 月時点、累計 14.8 万件の宣言を頂きました。

来年度はアンバサダーを起用した広報をはじめ、ホームページでも新たな展開を行い JAPAN RIDERS の一層の認知向上と、ライダーのマナー UP、交通事故抑止を目指してまいります。



■二輪車駐車場の整備促進ならび利用促進

ユーザーから寄せられた二輪車駐車場整備要望 615 件を国交省や自治体に届けるとともに自治体に自転車駐車場への自動二輪車受入れや二輪車駐車場整備をお願いするなど促進活動を行いました。

「全国バイク駐車場案内」Web サイトに掲載している駐車場数は、12 月末時点で 15,593 件となり、前年末より 2,351 件増加しました。

来年度も、引続き信頼される駐車場検索 Web サイトとして情報の精度・鮮度の維持を図りながら、国交省や各自治体と情報共有しつつ課題があれば個別に対応し、ユーザーの利便性向上とマナーアップを図ります。

事業活動状況

流通環境本部 モーターサイクルスポーツ推進部

■バイク月間

「8月19日はバイクの日」及び「7・8・9月はバイク月間」の認知向上を目的に、バイクの安全と楽しさを訴求する活動を積極的に推進しました。



「8月19日はバイクの日 HAVE A BIKE DAY」は、東京・二子玉川で開催したことでファミリー層の動員につながり、多くのメディアの注目を集め盛況に開催することが出来ました。

各ブロックでは、災害で5イベントが中止となったものの22のイベントに主催・後援・協力・出展を実施し、安全と楽しさを訴求致しました。

来年度も本年度取組んだ各施策の検証を行い、効果的な施策を検討・実施します。



■モーターサイクルショーの開催、協力

本年度も、大阪モーターサイクルショーを開催するとともに東京モーターサイクルショーへの協力を行い、団体ブースに出展し各事業の訴求活動を行います。

アンバサダーの梅本まどかさんも参加致しますので、たくさんの方のご来場をお待ちしています。

また、来年度は4月に名古屋でもモーターサイクルショーが開催されることとなっており、同様に出展を予定しております。



令和元年度 陸運関係功労者表彰及び従事者表彰

陸運関係功労者表彰及び従事者表彰は、自動車関係事業の販売、整備、運輸の各分野において多年精励され、功績顕著である者を表彰する制度です。日本二普協では、二輪車関係事業の推薦団体として平成25年度から二輪車業界の発展のために尽力された方々を推薦しています。令和元年度は、国土交通省大臣表彰の受賞者4名のほか、32名の方が受賞されました。引き続き、二輪車業界のために、多年精励され、功績顕著な方々を称え、更なる励みとなって頂けるよう、推薦して参ります。



国土交通大臣表彰



北海道運輸局長功労者表彰



東北運輸局長功労者表彰



中部運輸局長功労者表彰



中国運輸局長功労者表彰



九州運輸局長功労者表彰

令和元年度日本二普協より推薦した 陸運関係功労者表彰及び従事者表彰受賞者一覧

国土交通省大臣 功労者表彰 3名

運輸局	支局	法人名	氏名
関東	埼玉	上尾サイクルオート有有限会社	中山 博之
		株式会社ガイア	渡邊 正明
中部	富山県	Y S P 富山中央	酒井 宗一

国土交通省大臣 従事者表彰 1名

運輸局	支局	法人名	氏名
関東	長野	清水サイクル	清水 泰昭

運輸局長 功労者表彰 16名

運輸局	支局	法人名	氏名
北海道	函館	函館マジマ株式会社	間島 正明
東北	山形	株式会社ホンダウイング荘内	荒生 和人
関東	茨城	船見サイクル	船見 三四
	埼玉	有限会社ミナミ商会	南 次郎
中部	福井	株式会社ゆたか	豊岡 範幸
	岐阜	スポーツバイクショップ ゴーグル	牛丸 進理
	愛知	合資会社井上サイクル商会	井上 隆史
	三重	カワバタ商会	川端 巖雄
		バイク ショップ ナカジマ	池田 正憲
近畿	兵庫	株式会社イタミカワサキ	三上 公人
中国	岡山	有限会社アキヤマ	秋山 勝彦
		近藤商会	近藤 米男
	広島	カワサキショップキティ	岩本 敏幸
九州	熊本	合資会社国産軽自動車販売	上津原 敏明
		オートパークヨシオカ	霞岡 宏嗣
	大分	バイク屋ロシナンテ	阿南 晃

運輸局長 従事者表彰 1名

運輸局	支局	法人名	氏名
関東	茨城	モタイ輪店	茂田井 金雄

運輸支局長 功労者表彰 12名

運輸局	支局	法人名	氏名
東北	青森	モーターファン小田切	小田切信雄
関東	茨城	澤畑モータース	澤畑 實
	群馬	小林自転車店	小林 寅男
	千葉	有限会社寺本サイクル	寺本 弘
	神奈川	合資会社島村モータース	島村 弘
	山梨	スズキスポーツ甲府	西谷 伸司
中部	静岡	有限会社エルドラード浜松	和田 茂
	石川	ホンダウイングあらき	荒木 正勝
	福井	有限会社バイクハウス赤い3輪車	小林 幸広
	愛知	スピードショップ東洋	森 実
		有限会社ナリデンオートセンター	成田 康正
中国	広島	株式会社ハリケーン	宗崎 博文

運輸支局長 従事者表彰 3名

運輸局	支局	法人名	氏名
関東	長野	バイクワールド安曇野	岩崎 陽子
中部	岐阜	有限会社堀尾	藤懸 知也
	愛知	Y S P 豊川	三浦 加依子

警察庁交通局長からの挨拶状

年頭にあたり、警察庁 北村博文交通局長様より、当協会の交通安全活動に対する御礼の挨拶状を頂きました。

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
会長 伊東 孝紳 様

謹啓 初春の候、貴台にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から警察行政各般にわたりまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故による死者数は、3,215人で、3年連続で戦後最少を更新しました。

これもひとえに、平素から交通安全活動に携わる皆様の御尽力のたまものであり、心から感謝申し上げます。

しかしながら、今なお多くの尊い命が交通事故で失われていることには変わりなく、高齢運転者による事故や、子供が犠牲となる痛ましい事故も依然として後を絶ちません。こうした状況を受けて、政府は昨年6月に緊急対策を決定し、未就学児等の子供や高齢運転者の交通安全対策に取り組んでいるところです。

警察といたしましても、これらの取組に重点を置きつつ、本年、最終年となる第10次交通安全基本計画に基づき、政府が目標とする「世界一安全な道路交通の実現」に向けて、各界各層と連携しながら、交通安全教育、交通指導取締り、交通安全施設等の整備、先端技術の普及活用等の諸対策を着実に推進し、交通事故死者数の更なる減少を目指してまいります。

皆様におかれましては、引き続き、安全で快適な交通社会の実現に向け御尽力いただきますとともに、交通警察行政への変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

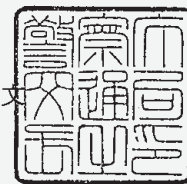
末筆ながら、皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

謹言

令和2年1月6日

警察庁交通局長

北 村 博 文



都府県地区支所会長・事務局長会議を開催

去る令和元年12月3日(火) アルカディア市ヶ谷で、都府県地区支所会長・事務局長会議を開催しました。

会議では「令和2年度業務推進計画」について説明を行った後に、「令和元年度活動推進状況」について担当部門ごとに報告を行い、各事業活動推進の実績と課題を共有化しました。

会長挨拶

47都道府県が県大会を実施し、全国大会に参加していただけるよう尽力を

会長 伊東 孝紳



都府県地区支所会長・事務局長会議の開催に当たり、一言ご挨拶をいたします。

皆さんには、それぞれの都府県地区において、二輪車ユーザーの安全、防犯の確保、流通環境の整備等に日々精励され、所期の成果を取めていただいていることに、敬意と謝意を表する次第であります。

さて、本年8月には、平成29年の第50回大会を最後に終了となった二輪車安全運転全国大会を復活させ、主催者として実施することが出来ました。しかしながら、大会に参加したのは34都道府県で、13県が不参加でありました。

そこで、この13県の支所会長・事務局長さんにあっては、県の交通安全協会に対し、県大会の実施と全国大会への参加を強く働きかけていただき、47都道府県が以前のように、それぞれ県大会を実施し、揃って全国大会に参加していただけるように特段のご尽力をお願いいたします。

全国大会参加が一つの契機となり、全国各地で、安全運転の講習や訓練が活発に展開され、二輪車の安全利用と普及が一層進むことを大いに期待しているからです。

このほか通常業務につきましては、概ね順調に推移しておりますが、本年度も未だ3分の1の期間が残っておりますので、各業務の効果的かつ的確な実施に努め、実績の向上を図っていただきますようお願いいたします。

二輪車を取り巻く諸情勢が大変厳しい中、皆さんには、日々、何かと御苦勞も多いことかと思いますが、二輪車ユーザーの利用の輪が広がり、より安全で快適なバイクライフを享受していただけるよう、関係機関団体との緊密な連携の下に、引き続き各種活動を積極的に展開していただきますようお願い致します。

終わりにになりましたが、本日ご出席の皆さんの一層のご活躍を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。



来賓ご挨拶

改正道路交通法施行規則の周知と、二輪運転者が安全で快適な運転生活を送ることが出来る環境整備を

警察庁 交通局 運転免許課長 日下 真一



ただいまご紹介いただきました、警察庁運転免許課長の日下でございます。一言、ご挨拶を申し上げます。

ご列席の皆様方には、平素から警察行政各般にわたり深いご理解とご協力をいただくとともに、二輪車の交通安全と防犯対策の推進にご尽力されておられますことに対し、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

また、ただ今、二輪車の交通安全普及活動とグッドライダー防犯登録制度の普及促進に多大な貢献をされたご功績により、優良団体、優良販売店として受賞されました皆様に心よりお祝い申し上げます。

最近の交通事故情勢につきましては、本年10月末現在の交通事故死者数が2,531人と、前年同期比で265人の減となっており、その中でも、原付を含めた自動二輪車乗車中の交通事故死者数に関しては424人と、前年同期比で80人、約16パーセントの減となっております。これもひとえに「グッドライダーミーティング」や「二輪車安全運転全国大会」などを通じた、皆様方による常日頃からの二輪車の交通事故抑止活動の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

さて、12月1日に改正道路交通法施行規則が施行され、定格出力が20キロワットを超える電動自動二輪車が大型自動二輪車に区分される一方で、AT限定大型二輪免許で運転することが出来る車両の総排気量の上限が撤廃されました。

皆様方におかれましては、新制度の周知はもとより、新制度の下、二輪運転者が安全で快適な運転生活を送ることが出来る環境整備にご協力いただきますようお願い申し上げます。

悲惨な交通事故を1件でも減少させていくためには、警察と御協会が一体となって諸対策に取り組むことが不可欠であります。引き続き、効果的な交通事故防止対策にご尽力賜りますとともに、グッドライダー防犯登録制度の普及促進を通じて、二輪運転者の防犯意識の高揚を図っていただきますようお願い申し上げます。

結びに、御協会の益々のご発展と、ご列席の皆様のご健勝を祈念申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。



令和元年度 日本二輪車普及安全協会会長表彰

優良地域団体33団体 優良販売店137店 を表彰

令和元年12月3日（火）に開催した都府県地区支所会長・事務局長会議の席上「令和元年度 日本二輪車普及安全協会会長表彰」の表彰式を行いました。優良地域団体 33 団体、グッドライダー・防犯登録制度推進 優良販売店 137 店が表彰となりました。代表として2名の方に、ご出席をいただいて表彰式を行い、伊東会長より表彰状が授与されました。



【優良地域団体代表】

府中二輪車安全普及協会 会長 荒井 俊一 様

【グッドライダー・防犯登録制度推進 優良販売店代表】

ホンダドリーム葛西 平野 浩久 様



優良地域団体

33団体（順不同・敬称略）

都府県地区名	地 域 団 体 名	代 表 者 氏 名
北 海 道	旭川地区二輪車普及安全協会	中 川 辰 也
青 森	八戸地区二輪車普及安全協会	紫 葉 弘 道
岩 手	岩手県二輪車安全普及協会 ブロック会 盛岡支部	田 中 清 也
宮 城	宮城県二輪車普及安全協会 中央北ブロック会	齋 藤 實
山 形	最上地区二輪車普及安全協会	青 山 和 弘
福 島	福島県二輪車普及安全協会 郡山支部	矢 吹 正
東 京	府中二輪車安全普及協会	荒 井 俊 一
	小松川二輪車安全普及協会	柴 田 克 昌
埼 玉	越谷地区二輪車安全普及協会	浅 見 富司雄
	狭山入間地区二輪車安全普及協会	森 田 巧
神 奈 川	横須賀二輪車安全普及協会	森 雄 一
	小田原二輪車安全普及協会	木 村 健 二
静 岡	静岡県浜松地区二輪車普及安全協会	岩 崎 勝
愛 知	愛知県二輪車普及安全協会 瀬戸支部	伊 藤 雄一郎
大 阪	枚方・交野地域二輪車安全普及協会	中 田 耕 司
	堺地域二輪車安全普及協会	青 木 信 晴
	松原地域二輪車安全普及協会	新 田 房 義
鳥 取	中部地域二輪車安全普及協会	森 谷 明 夫
島 根	浜田地域二輪車安全普及協会	濱 田 和 哉
岡 山	岡山中央地域二輪車普及安全協会	川 田 雄 三
広 島	広島中央地区二輪車安全普及協議会	山 下 晃 正
	広島南地区二輪車安全普及協議会	重 光 述 宏
山 口	下松ブロック	田 中 貴 之
徳 島	徳島県徳島東二輪車普及安全協会	國 見 力
愛 媛	愛媛県大洲二輪車普及安全協会	二 宮 豊 和
高 知	高知県高知南二輪車普及安全協会	裏 正 一
福 岡	小郡地区二輪車普及安全協会	佐々木 武 夫
長 崎	大村地区二輪車普及安全協会	石 本 和 幸
熊 本	芦北地区二輪車普及安全協会	川 元 光 明
大 分	別府地区二輪車普及安全協会	牧 元 保
宮 崎	延岡地区二輪車普及安全協会	坂 本 今朝利
鹿 児 島	鹿屋地区二輪車普及安全協会	時 吉 隆 司
	曾於地区二輪車普及安全協会	隈 元 一 九

グッドライダー・防犯登録制度推進優良販売店

137店（順不同・敬称略）

都府県地区名	店 名	代表者氏名
札幌・室蘭	バイカーズステーションソックス札幌店	大 石 聖 児
旭 川	有限会社藤田サイクル	藤 田 英 記
	ホンダドリーム旭川	中 山 晋 一
青 森	YSP八戸	三 浦 健 至
	EDOYA MOTORCYCLE CREATE	吉 田 創 一
	ホンダドリーム五所川原	平 山 孝 司
岩 手	株式会社クボトラ	米 澤 誠 司
	カワサキプラザ盛岡	澤 村 芳 信
	有限会社小原サイクル	小 原 淳 子
宮 城	ホンダドリーム仙台六丁の目	早 坂 武
	Motor's Shop EBINA	鮫 名 勝
	山田輪業店	山 田 行 男

都府県地区名	店 名	代表者氏名
秋 田	POWER'Sサトウ	佐 藤 俊 二
	カマダサイクル	鎌 田 誠 一
山 形	株式会社早坂サイクル商会山形店	丹 野 信 一
	YSP酒田	五十嵐 博
	萩モータース	萩 清
福 島	ホンダドリーム福島島谷野	添 田 勉
	有限会社ホンダウイングいわき	阿 部 博 典
	有限会社モーターハウス	菅 野 芳 郎
東 京	ホンダドリーム八王子	納 谷 宏 康
	ホンダドリーム葛西	平 野 浩 久
	YSP八王子	高 橋 正 光

都府県地区名	店 名	代表者氏名
茨 城	有限会社木村輪業	木 村 茂
	バイカーズステーションソックスつくば店	大 石 聖 児
	YSPつくば	下 脇 政 美
栃 木	バイカーズステーションソックス宇都宮店	大 石 聖 児
	カワサキプラザ宇都宮インターパーク	関 澤 光 男
	カー&サイクルタナカ	青 山 誠
群 馬	バイカーズステーションソックス大泉店	大 石 聖 児
	カワサキプラザ前橋	長 井 孝 志
	有限会社鈴木商会	鈴 木 一 美
埼 玉	バイカーズステーションソックス大宮店	大 石 聖 児
	ホンダドリーム所沢	三 好 優
	株式会社はとや川口店	石 鍋 卓
千 葉	ホンダドリーム松戸	三 好 優
	有限会社袖ヶ浦ホンダ本店	小 林 宏 子
	バイカーズステーションソックス船橋店	大 石 聖 児
神奈川	YOKOHAMAセラビィ	小 川 司
	バイクセンター横浜店	吉 本 孝 二
	丸富オート販売株式会社戸塚店	長 田 省 吾
新 潟	バイカーズステーション新潟中央店	大 石 聖 児
	ホンダドリーム新潟東	高 田 知 明
	桜井自転車店支店	桜 井 春 雄
山 梨	YOU SHOPフクダ	福 田 重 信
	バイク館SOX甲府店	大 石 聖 児
	一瀬自転車店	一 瀬 正 樹
長 野	ホンダドリーム長野	小 林 邦 博
	ホンダドリーム松本	赤 羽 博 巳
	シミズモーターサイクル	清 水 秀 樹
静 岡	株式会社川島モータース	川 嶋 登志久
	カワサキプラザ浜松	川 嶋 登志久
	カワサキプラザ沼津	相 良 真 吾
富 山	YSP富山東	叶 井 廉
	YSP富山中央	酒 井 克 宗
	カワサキプラザ富山	堀 豊
石 川	MOTOR HOUSE BIKE ON 田上店	片 岡 匡 史
	有限会社城北カワサキ	山 本 正
	松田モータース株式会社	松 田 弘
福 井	株式会社バイクガレージ福井	出 口 幸 宏
	株式会社ホンダ販売敦賀	中 河 義 博
	有限会社バイクハウス 赤い3輪車	小 林 幸 広
岐 阜	YSP各務原東	堀 尾 明 宣
	竹村輪業	竹 村 千奈美
	オートパレスKEN	兒 玉 健
愛 知	バイカーズステーションソックス天白店	大 石 聖 児
	ホンダドリーム豊橋	靱 英 樹
	ホンダドリーム名古屋守山	伊 藤 夕 子
三 重	バイカーズステーションソックス四日市店	大 石 聖 児
	BUSH!	藪 卓 哉
	バイクショップナカジマ	池 田 正 憲
滋 賀	バイカーズステーションソックス滋賀草津店	大 石 聖 児
	合同会社MECHANIC HOUSE	五 味 和 重
	株式会社ナックファクトリー ホンダドリーム近江八幡	中 村 武 臣
京 都	株式会社レオタニモト 本店	谷 本 将 崇
	株式会社ジーゼット	徳 田 敏 行
	天神川ファクトリー五条カドノ店	黒 岩 義 正
大 阪	有限会社モーターサイクルパル	大 野 圭 央
	株式会社モトランド ホンダドリーム香里園	久 保 圭 司
	株式会社ハイブリッド	永 福 雅 樹

都府県地区名	店 名	代表者氏名
兵 庫	株式会社エナジーモーターススタイル 本店	大久保 彰
	ソノダオートバイ	村 上 和 一
	サンオートサイクル	片 山 大 輔
奈 良	バイカーズステーションソックス奈良店	大 石 聖 児
	株式会社ホンダドリーム近畿 ホンダドリーム奈良	江 口 賢 一
	YOUSHOOPキャブレター	松 井 幸 三
和歌山	ホンダドリーム和歌山	林 英 成
	マツカワ輪業	松 川 剛 士
	サイクルオートなか	中 晋 彦
鳥 取	有限会社ライダーズスポットムラタ	村 田 守 孝
	青戸モータース	青 戸 亨
	ホンダドリーム島根	斉 藤 勅
島 根	有限会社レーシングショップアツタ	熱 田 勝 則
	ライドオン・プロダクトSIDE-B	大 村 孝 柄
	ホンダドリーム岡山	石 見 英 昭
岡 山	YSP岡山南	森 石 知 治
	サイクルセンターフジワラ	藤 原 美津子
	株式会社バイクピット東広島	林 茂 樹
広 島	ホンダドリーム東広島	神 田 裕 三
	有限会社モトワークスセノオSBS福山	妹 尾 拓 志
	周防輪業	住 原 晴 生
山 口	フクダサイクル	福 田 日出夫
	田中輪業	田 中 誠
徳 島	有限会社インディーズ	山 口 裕 治
	有限会社山橋商会	山 橋 諄 亮
	株式会社藤岡輪業商会	藤 岡 雅 彦
香 川	バイカーズステーションソックス高松店	大 石 聖 児
	株式会社BSP高松	相 川 捷 夫
	株式会社BSP丸亀	高 木 健 司
愛 媛	有限会社タクボ	田 窪 竜 太
	高橋商会	高 橋 孝 仁
	谷口商会	谷 口 幸 治
高 知	有限会社オートショップ チャレンジ	裏 正 一
	ホンダドリーム高知	岩 見 英 昭
	株式会社瀬戸ホンダ高橋商会	高 橋 祐 司
福 岡	ホンダドリーム大牟田	三 井 千賀子
	有限会社山田モータース	有 松 哲 平
	ミスミ商会	三 角 智恵美
佐 賀	YSP佐賀	門 松 秀 明
	HONDA DREAM長崎	村 上 順 三
	YSP長崎	立 山 伸 一
長 崎	有限会社池田モータース長与店	池 田 雄一郎
熊 本	バイカーズステーションソックス熊本本店	甲斐田 誠
	ギンリン楠	谷 口 優
	桜山サイクル	糸 永 親 義
大 分	小川コンペティション	小 川 智 志
	サノサイクル	佐 野 和 彦
	菅原サイクル	菅 原 正 次
宮 崎	ホンダドリーム宮崎	黒 岩 孝 志
	YSP延岡	山 本 晶 文
	バイクショップABCホンダ	村 田 優 一
鹿児島	YOU SHOPちしき	山 崎 啓 太
	ホンダドリーム霧島	東 郷 喜 八
	内山商事株式会社	内 山 正一郎
沖 縄	SBSバイクスター	青 柳 岳 人
	ライダーショップナカモト	仲 本 幸 雄
	ウイングサロン翁長	翁 長 安 芳

意見交換会

会議終了後、意見交換会が行われました。

会長挨拶

安全運転全国大会を復活させたのは非常に大きな意味があると思います

会長 伊東 孝紳



皆さん こんにちは。

意見交換会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、警察庁の日下運転免許課長様、野村犯罪抑止対策室長様をはじめ警察庁、経済産業省の皆様には、ご多忙中にもかかわらず多数の皆様のご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、先ほど、優良地域団体及びグッドライダー・防犯登録制度推進優良販売店として表彰を受けられました皆様に、重ねて心よりお祝いとお礼を申し上げます。

先程の報告にもありましたように、1年のブランクをおいて今夏に二輪車安全運転全国大会を無事開くことが出来ました。

私も暑い日でしたが参加をさせていただきました。

非常に若い方からお年を召した方まで、非常に上手な運転をされており、行く度に驚いております。

やはり日本二普協が復活させて良かったなとつくづく思った次第です。二輪車はやはり乗ってなんぼです。乗らないと解らないし、乗るからには安全に運転していただきたいし、技量を高めれば高めるほど喜びにつながるという面白い乗り物です。

そういった面でいうと日本二普協としても出来るだけ多くの方に二輪車に接していただきたい。それも安全に運転していただきたいということからすると、全国大会を復活させたというのは非常に大きな意味があると思います。

また来年は涼しい時期にやれることになりましてこちらも助かりますけれども、出来るだけ参加する県が増えますよう、皆様のご尽力をお願いしたいと思っております。

さて本日の業務報告、いろいろありましたけれども各支所の皆様には着実に実行していただきたい、そういう計画をこれから一生懸命立てていただきたいと思っております。

しかしながらそのためにはやはり本部、支部皆さんのコミュニケーションが非常に大事だなと思っております。そういった意味でもこの意見交換会、毎回やっておりますが非常に重要と思っていますのでお時間の許す限り精一杯コミュニケーションを図っていただきたいと思います。

終わりに、ご出席の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

来賓ご挨拶

「世界一安全な国、日本」を実現するため、官民一体 となって各種犯罪の抑止対策を推進して参りたい

警察庁 生活安全企画課 犯罪抑止対策室長 野村 朋美



警察庁生活安全局生活安全企画課犯罪抑止対策室長の野村でございます。

本日は、日本二輪車普及安全協会の意見交換会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

皆様方には、平素から警察行政の各般にわたり、深い御理解と多大なる御支援を賜っておりますことに對し、厚く御礼申し上げます。

また、本日、「優良地域団体表彰」及び「グッドライダー・防犯登録制度推進優良販売店表彰」を受賞された皆様を始め、貴協会の皆様方には、盗品売買等防止団体としての活動のほか、グッドライダー・防犯登録制度の普及など、盗品の流通防止等にご尽力されていることに對しましても、改めて敬意と謝意を表する次第でございます。

さて、最近の治安情勢について申し上げますと、全国における刑法犯認知件数は、平成14年から16年連続で減少し、昨年は約81万7,000件と、ピークであった平成14年と比較して約200万件（71.4%）減少しております。

しかしながら、依然として全刑法犯に占める窃盗犯の割合は高く、昨年中は約7割（71.2%）を占めており、また、これら窃盗の被害品が古物商等に持ち込まれるケースも後を絶たない状況でございます。

このような情勢の中、皆様方には、警察に対する不正品の申告等、窃盗犯人の検挙や被害品の早期発見等に多大なるご協力をいただいております、警察といたしましても、引き続き、犯罪の抑止活動と厳正な取締を推進していくこととしております。

また、2020年に開催が予定されている「オリンピック・パラリンピック東京大会」を目前に、「世界一安全な国、日本」を実現するため、事業者の方々、地域住民の方々、関係機関・団体の方々の御協力をいただきながら、官民一体となって各種犯罪の抑止対策を推進してまいりたいと考えております。

少し横道にそれさせていただきますが、犯罪抑止対策室長ということで特殊詐欺、いわゆるオレオレ詐欺等の抑止、こちらの方も所掌しております。

本日こちらに何う前に警察庁で「STOP オレオレ詐欺」という広報を俳優の杉良太郎さんなどの芸能界の方々と一緒に「SOS47」というプロジェクトチームを編成して抑止活動をやっております、その決起集会なるものに出席させていただいて参りました。本日から杉良太郎さんはじめEXILE、ジャニーズの方もいらっしゃるのですけれども、その方々が出演された動画でありますとかポスターが解禁といいますか皆様のお目に止まることになるかと思っております。本日ご列席の方々を拝見させていただきましたところ、もしかすると特殊詐欺のターゲットになる世代の方々もたくさんいらっしゃるようでございまして、また最近は年齢層に限らず40代50代の方も被害にあっております。

皆様のお子様であるとか、逆にお孫さんはまだまだターゲットには時間はあるかと思っておりますけれども、やはり家族の絆作戦ということで、そういった家族や仲間で話し合っていていただいて、詐欺被害の防止を推進していこうというのがコンセプトでございます。

ぜひ二輪車、オートバイの仲間も活用して頂きましてそんな話題にも時折触れて頂ければと思っております。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

来賓ご挨拶

信号機のない横断歩道で歩行者が立っていたら、率先して一時停止をしてください

府中二輪車安全普及協会 会長 荒井 俊一



皆様こんばんは。只今ご紹介頂きました府中二輪車安全普及協会の荒井と申します。宜しくお願い致します。

府中二普協の活動としては年に5、6回ほど府中運転免許試験場をお借りしまして府中ライディングスクールという形で活動しております。指導員の方のご協力と府中警察署のご協力があって初めて活動を行うことが出来るので日頃から皆様に感謝し、地道な活動ですけれども続けてやっております。

府中ライディングスクールでは、受講生の皆さんに対して必ず1つだけお願いしていることがございます。

それは、信号機のない横断歩道で歩行者が立っている場合、二輪車の方々は率先して一時停止をしていただいで歩行者を優先してください。というお願いを4、5年前から受講生に対してお願いしております。

私自身も運転しているときに一時停止をして歩行者を優先すると、オートバイは止まらないようなイメージを持っているみたいで、歩行者の人が笑顔でアイコンタクトを返してくれ、非常に自分としても気持ち良くなります。

ぜひ皆様もオートバイ等で、信号のない横断歩道を歩行者の人が立っている場合は率先して一時停止をして道を譲ってあげていただきたいと思います。

話が長くなってしまいますので、ここで僭越ですが乾杯の音頭を取らせていただきます。皆様のご健康とこの会がますますの発展をすることを祈りまして乾杯と致します。



統計1 都道府県別二輪車乗車中死者数（令和元年12月末現在）

令和元年中の二輪車乗車中の死者数は510人で前年同期比103人 16.8%の減少でした。車種別では、自動二輪乗車中の死者数が361人で前年同期比40人 10.0%減少、原付車乗車中死者数は149人で63人 29.7%減少でした。

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全 死 者 数		
	元年 12月末	増減数	30年 12月末	元年 12月末	増減数	30年 12月末	元年 12月末	増減数	30年 12月末	元年 12月末	増減数	30年 12月末
北 海 道	15	8	7	1	0	1	16	8	8	152	11	141
青 森	1	▲ 1	2	0	▲ 1	1	1	▲ 2	3	37	▲ 8	45
岩 手	3	2	1	0	0	0	3	2	1	45	▲ 14	59
宮 城	7	1	6	2	1	1	9	2	7	65	9	56
秋 田	2	▲ 1	3	0	0	0	2	▲ 1	3	40	▲ 2	42
山 形	1	▲ 1	2	0	0	0	1	▲ 1	2	32	▲ 19	51
福 島	3	▲ 3	6	1	▲ 2	3	4	▲ 5	9	61	▲ 14	75
東北	17	▲ 3	20	3	▲ 2	5	20	▲ 5	25	280	▲ 48	328
東 京	26	▲ 10	36	2	▲ 6	8	28	▲ 16	44	133	▲ 10	143
茨 城	11	1	10	7	▲ 3	10	18	▲ 2	20	107	▲ 15	122
栃 木	10	▲ 1	11	3	0	3	13	▲ 1	14	82	▲ 7	89
群 馬	5	▲ 4	9	3	▲ 2	5	8	▲ 6	14	61	▲ 3	64
埼 玉	18	4	14	10	0	10	28	4	24	129	▲ 46	175
千 葉	20	▲ 1	21	9	▲ 3	12	29	▲ 4	33	172	▲ 14	186
神奈川	40	9	31	9	▲ 6	15	49	3	46	132	▲ 30	162
新 潟	3	▲ 1	4	2	▲ 5	7	5	▲ 6	11	93	▲ 9	102
山 梨	4	▲ 4	8	0	0	0	4	▲ 4	8	25	▲ 12	37
長 野	6	▲ 1	7	2	▲ 4	6	8	▲ 5	13	65	▲ 1	66
静 岡	9	▲ 4	13	6	▲ 4	10	15	▲ 8	23	101	▲ 3	104
関東	126	▲ 2	128	51	▲ 27	78	177	▲ 29	206	967	▲ 140	1,107
富 山	1	▲ 4	5	3	3	0	4	▲ 1	5	34	▲ 20	54
石 川	1	0	1	1	1	0	2	1	1	31	3	28
福 井	2	0	2	0	0	0	2	0	2	31	▲ 10	41
岐 阜	4	▲ 7	11	3	2	1	7	▲ 5	12	84	▲ 7	91
愛 知	20	▲ 9	29	9	▲ 3	12	29	▲ 12	41	156	▲ 33	189
三 重	11	5	6	5	▲ 2	7	16	3	13	75	▲ 12	87
中部	39	▲ 15	54	21	1	20	60	▲ 14	74	411	▲ 79	490
滋 賀	7	7	0	2	1	1	9	8	1	57	18	39
京 都	11	2	9	3	▲ 2	5	14	0	14	55	3	52
大 阪	23	▲ 13	36	9	▲ 8	17	32	▲ 21	53	130	▲ 17	147
兵 庫	9	▲ 12	21	6	▲ 3	9	15	▲ 15	30	138	▲ 14	152
奈 良	5	1	4	5	▲ 5	10	10	▲ 4	14	34	▲ 11	45
和歌山	4	▲ 2	6	3	▲ 1	4	7	▲ 3	10	33	▲ 3	36
近畿	59	▲ 17	76	28	▲ 18	46	87	▲ 35	122	447	▲ 24	471
鳥 取	2	▲ 1	3	0	▲ 1	1	2	▲ 2	4	31	11	20
島 根	2	1	1	1	0	1	3	1	2	25	5	20
岡 山	7	▲ 1	8	4	1	3	11	0	11	75	7	68
広 島	10	1	9	4	▲ 3	7	14	▲ 2	16	75	▲ 17	92
山 口	2	1	1	0	▲ 2	2	2	▲ 1	3	45	▲ 7	52
中国	23	1	22	9	▲ 5	14	32	▲ 4	36	251	▲ 1	252
徳 島	2	1	1	3	2	1	5	3	2	41	10	31
香 川	3	▲ 1	4	5	0	5	8	▲ 1	9	47	3	44
愛 媛	5	2	3	5	▲ 2	7	10	0	10	42	▲ 17	59
高 知	1	▲ 4	5	1	1	0	2	▲ 3	5	33	4	29
四国	11	▲ 2	13	14	1	13	25	▲ 1	26	163	0	163
福 岡	7	▲ 4	11	3	▲ 7	10	10	▲ 11	21	98	▲ 38	136
佐 賀	1	▲ 4	5	0	▲ 1	1	1	▲ 5	6	34	4	30
長 崎	4	1	3	1	▲ 2	3	5	▲ 1	6	33	▲ 3	36
熊 本	11	5	6	6	1	5	17	6	11	69	9	60
大 分	4	0	4	3	0	3	7	0	7	41	2	39
宮 崎	3	2	1	1	1	0	4	3	1	39	5	34
鹿児島	3	▲ 6	9	4	0	4	7	▲ 6	13	61	▲ 3	64
沖 縄	12	6	6	2	1	1	14	7	7	36	▲ 2	38
九州	45	0	45	20	▲ 7	27	65	▲ 7	72	411	▲ 26	437
合 計	361	▲ 40	401	149	▲ 63	212	510	▲ 103	613	3,215	▲ 317	3,532

統計2 グッドライダー・防犯登録状況（令和元年12月末現在）

令和元年1月～12月の登録件数は228,773件で前年同期比6,450件 2.7%の減少となりました。

実施年月	都道府県	11月		増減	前年比	12月		増減	前年比	1月～12月累計		増減	前年比	4～12月累計		増減	前年比
		H30年	R1年			H30年	R1年			H30年	R1年			H30年度	R1年度		
H10／6	北海道	12	21	9	175	9	20	11	222	1,355	1,648	293	122	1,322	1,589	267	120
H10／1	青森県	28	27	▲ 1	96	11	30	19	273	832	881	49	106	768	824	56	107
H10／4	岩手県	34	30	▲ 4	88	8	21	13	263	680	726	46	107	627	643	16	103
H9／8	宮城県	337	306	▲ 31	91	233	170	▲ 63	73	5,085	4,896	▲ 189	96	4,194	3,978	▲ 216	95
H10／1	秋田県	12	9	▲ 3	75	4	4	0	100	314	329	15	105	290	293	3	101
H10／1	山形県	19	27	8	142	10	23	13	230	533	629	96	118	486	554	68	114
H10／1	福島県	41	43	2	105	48	20	▲ 28	42	783	811	28	104	645	676	31	105
	東北計	471	442	▲ 29	94	314	268	▲ 46	85	8,227	8,272	45	101	7,010	6,968	▲ 42	99
H8／4	東京都	1,942	1,970	28	101	1,628	1,265	▲ 363	78	21,812	21,214	▲ 598	97	17,510	16,673	▲ 837	95
H13／10	茨城県	271	277	6	102	219	211	▲ 8	96	3,879	3,949	70	102	3,021	3,139	118	104
H9／10	栃木県	123	117	▲ 6	95	111	122	11	110	1,510	1,729	219	115	1,203	1,338	135	111
H11／11	群馬県	169	106	▲ 63	63	146	101	▲ 45	69	2,184	2,095	▲ 89	96	1,753	1,599	▲ 154	91
H9／4	埼玉県	1,107	992	▲ 115	90	927	789	▲ 138	85	12,988	12,939	▲ 49	100	10,364	9,985	▲ 379	96
H10／6	千葉県	507	490	▲ 17	97	504	457	▲ 47	91	6,934	7,102	168	102	5,491	5,430	▲ 61	99
H10／7	神奈川県	1,633	1,341	▲ 292	82	1,380	1,429	49	104	19,909	18,989	▲ 920	95	15,660	14,653	▲ 1,007	94
H8／4	新潟県	60	52	▲ 8	87	28	37	9	132	1,068	1,239	171	116	931	1,091	160	117
H12／4	山梨県	139	143	4	103	118	146	28	124	2,543	2,465	▲ 78	97	2,020	1,995	▲ 25	99
H10／1	長野県	112	85	▲ 27	76	90	130	40	144	1,668	1,605	▲ 63	96	1,449	1,350	▲ 99	93
	関東計	6,063	5,573	▲ 490	92	5,151	4,687	▲ 464	91	74,495	73,326	▲ 1,169	98	59,402	57,253	▲ 2,149	96
H12／8	静岡県	471	400	▲ 71	85	427	401	▲ 26	94	6,012	5,833	▲ 179	97	4,720	4,502	▲ 218	95
H10／7	富山県	34	10	▲ 24	29	7	8	1	114	278	275	▲ 3	99	259	241	▲ 18	93
H10／7	石川県	7	11	4	157	2	6	4	300	168	191	23	114	148	165	17	112
H10／7	福井県	37	12	▲ 25	32	10	17	7	170	410	477	67	116	373	415	42	111
H14／4	岐阜県	35	33	▲ 2	94	23	33	10	144	574	616	42	107	455	471	16	104
H14／4	愛知県	800	606	▲ 194	76	692	619	▲ 73	90	10,824	10,531	▲ 293	97	8,485	8,260	▲ 225	97
H10／11	三重県	210	99	▲ 111	47	173	237	64	137	2,641	2,777	136	105	2,148	2,199	51	102
	中部計	1,594	1,171	▲ 423	74	1,334	1,321	▲ 13	99	20,907	20,700	▲ 207	99	16,588	16,253	▲ 335	98
H10／4	滋賀県	393	266	▲ 127	68	242	200	▲ 42	83	3,848	3,627	▲ 221	94	3,103	2,807	▲ 296	91
H9／8	京都府	1,003	742	▲ 261	74	822	867	45	106	12,903	12,227	▲ 676	95	9,933	9,471	▲ 462	95
H10／12	大阪府	2,835	2,100	▲ 735	74	2,561	2,223	▲ 338	87	35,119	34,397	▲ 722	98	27,152	26,505	▲ 647	98
H10／11	兵庫県	946	754	▲ 192	80	784	783	▲ 1	100	12,041	11,845	▲ 196	98	9,374	9,174	▲ 200	98
H10／9	奈良県	159	136	▲ 23	86	159	107	▲ 52	67	2,132	2,048	▲ 84	96	1,690	1,587	▲ 103	94
H10／4	和歌山県	246	160	▲ 86	65	181	150	▲ 31	83	3,002	2,641	▲ 361	88	2,333	2,047	▲ 286	88
	近畿計	5,582	4,158	▲ 1,424	75	4,749	4,330	▲ 419	91	69,045	66,785	▲ 2,260	97	53,585	51,591	▲ 1,994	96
H10／12	鳥取県	18	16	▲ 2	89	16	27	11	169	299	376	77	126	256	314	58	123
H10／1	島根県	87	70	▲ 17	81	48	59	11	123	1,092	1,040	▲ 52	95	883	868	▲ 15	98
H11／1	岡山県	510	419	▲ 91	82	438	353	▲ 85	81	6,501	6,179	▲ 322	95	5,205	4,863	▲ 342	93
H10／4	広島県	1,523	1,123	▲ 400	74	1,308	1,019	▲ 289	78	19,326	17,165	▲ 2,161	89	15,530	13,322	▲ 2,208	86
H11／4	山口県	168	179	11	107	164	115	▲ 49	70	2,606	2,458	▲ 148	94	2,002	1,953	▲ 49	98
	中国計	2,306	1,807	▲ 499	78	1,974	1,573	▲ 401	80	29,824	27,218	▲ 2,606	91	23,876	21,320	▲ 2,556	89
H11／1	徳島県	51	51	0	100	53	42	▲ 11	79	768	791	23	103	572	634	62	111
H10／9	香川県	130	105	▲ 25	81	109	73	▲ 36	67	1,808	1,623	▲ 185	90	1,415	1,270	▲ 145	90
H12／4	愛媛県	587	502	▲ 85	86	571	465	▲ 106	81	9,934	9,328	▲ 606	94	7,696	7,090	▲ 606	92
H10／11	高知県	126	175	49	139	120	79	▲ 41	66	2,046	2,070	24	101	1,635	1,595	▲ 40	98
	四国計	894	833	▲ 61	93	853	659	▲ 194	77	14,556	13,812	▲ 744	95	11,318	10,589	▲ 729	94
H10／4	福岡県	390	397	7	102	323	379	56	117	5,537	5,803	266	105	4,402	4,518	116	103
H10／11	佐賀県	11	9	▲ 2	82	15	8	▲ 7	53	169	149	▲ 20	88	140	115	▲ 25	82
H10／4	長崎県	70	68	▲ 2	97	57	43	▲ 14	75	852	937	85	110	696	701	5	101
H10／5	熊本県	273	176	▲ 97	65	215	176	▲ 39	82	3,691	3,420	▲ 271	93	2,832	2,618	▲ 214	92
H10／10	大分県	110	101	▲ 9	92	88	73	▲ 15	83	1,220	1,399	179	115	1,007	1,092	85	108
H10／9	宮崎県	63	65	2	103	44	63	19	143	932	956	24	103	749	722	▲ 27	96
H8／4	鹿児島県	130	116	▲ 14	89	85	68	▲ 17	80	1,740	1,584	▲ 156	91	1,308	1,177	▲ 131	90
H10／10	沖縄県	207	234	27	113	128	133	5	104	2,673	2,764	91	103	1,911	2,145	234	112
	九州計	1,254	1,166	▲ 88	93	955	943	▲ 12	99	16,814	17,012	198	101	13,045	13,088	43	100
	全国計	18,176	15,171	▲ 3,005	84	15,339	13,801	▲ 1,538	90	235,223	228,773	▲ 6,450	97	186,146	178,651	▲ 7,495	96

統計３ 二輪車盗難認知及び被害回復状況（令和年１１月末現在）

令和元年１月～１１月の盗難認知件数は１０,４４７件で前年同期比３,９０７件 ２７.２％の減少でした。
また、被害回復件数は４,６８１件で被害回復率は４４.８％となりました。

都道府県	平成30年1月～11月			令和元年1月～11月			前年対比	
	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	認知件数	回復率
北海道	64	21	32.8	41	14	34.1	▲ 23	1.3
青森県	3	1	33.3	3	0	0.0	0	▲ 33.3
岩手県	8	6	75.0	9	2	22.2	1	▲ 52.8
宮城県	79	26	32.9	71	32	45.1	▲ 8	12.2
秋田県	0	0	0.0	3	0	0.0	3	0.0
山形県	7	5	71.4	2	3	150.0	▲ 5	78.6
福島県	38	15	39.5	30	7	23.3	▲ 8	▲ 16.1
東北計	135	53	39.3	118	44	37.3	▲ 17	▲ 2.0
東京都	1,408	495	35.2	1,040	381	36.6	▲ 368	1.5
茨城県	243	42	17.3	231	54	23.4	▲ 12	6.1
栃木県	77	13	16.9	65	15	23.1	▲ 12	6.2
群馬県	82	16	19.5	61	16	26.2	▲ 21	6.7
埼玉県	1,116	215	19.3	761	179	23.5	▲ 355	4.3
千葉県	1,011	328	32.4	681	216	31.7	▲ 330	▲ 0.7
神奈川県	1,936	984	50.8	1,453	594	40.9	▲ 483	▲ 9.9
新潟県	28	18	64.3	23	7	30.4	▲ 5	▲ 33.9
山梨県	175	69	39.4	167	69	41.3	▲ 8	1.9
長野県	36	11	30.6	29	7	24.1	▲ 7	▲ 6.4
関東計	6,112	2,191	35.8	4,511	1,538	34.1	▲ 1,601	▲ 1.8
静岡県	348	172	49.4	336	119	35.4	▲ 12	▲ 14.0
富山県	7	6	85.7	10	1	10.0	3	▲ 75.7
石川県	14	9	64.3	12	5	41.7	▲ 2	▲ 22.6
福井県	10	3	30.0	4	4	100.0	▲ 6	70.0
岐阜県	80	49	61.3	68	35	51.5	▲ 12	▲ 9.8
愛知県	662	187	28.2	531	126	23.7	▲ 131	▲ 4.5
三重県	196	64	32.7	219	99	45.2	23	12.6
中部計	1,317	490	37.2	1,180	389	33.0	▲ 137	▲ 4.2
滋賀県	116	28	24.1	77	6	7.8	▲ 39	▲ 16.3
京都府	583	223	38.3	354	157	44.4	▲ 229	6.1
大阪府	2,771	1,027	37.1	1,857	758	40.8	▲ 914	3.8
兵庫県	1,018	419	41.2	707	925	130.8	▲ 311	89.7
奈良県	151	58	38.4	80	34	42.5	▲ 71	4.1
和歌山県	99	46	46.5	146	53	36.3	47	▲ 10.2
近畿計	4,738	1,801	38.0	3,221	1,933	60.0	▲ 1,517	22.0
鳥取県	6	2	33.3	2	2	100.0	▲ 4	66.7
島根県	3	1	33.3	9	4	44.4	6	11.1
岡山県	159	95	59.7	119	53	44.5	▲ 40	▲ 15.2
広島県	148	118	79.7	120	71	59.2	▲ 28	▲ 20.6
山口県	25	17	68.0	20	10	50.0	▲ 5	▲ 18.0
中国計	341	233	68.3	270	140	51.9	▲ 71	▲ 16.5
徳島県	19	14	73.7	6	9	150.0	▲ 13	76.3
香川県	61	36	59.0	48	19	39.6	▲ 13	▲ 19.4
愛媛県	144	51	35.4	109	39	35.8	▲ 35	0.4
高知県	52	32	61.5	47	36	76.6	▲ 5	15.1
四国計	276	133	48.2	210	103	49.0	▲ 66	0.9
福岡県	864	517	59.8	539	355	65.9	▲ 325	6.0
佐賀県	26	17	65.4	21	16	76.2	▲ 5	10.8
長崎県	32	17	53.1	33	15	45.5	1	▲ 7.7
熊本県	48	46	95.8	51	34	66.7	3	▲ 29.2
大分県	58	26	44.8	22	15	68.2	▲ 36	23.4
宮崎県	40	25	62.5	32	16	50.0	▲ 8	▲ 12.5
鹿児島県	86	55	64.0	40	21	52.5	▲ 46	▲ 11.5
沖縄県	217	117	53.9	158	48	30.4	▲ 59	▲ 23.5
九州計	1,371	820	59.8	896	520	58.0	▲ 475	▲ 1.8
全国計	14,354	5,742	40.0	10,447	4,681	44.8	▲ 3,907	4.8

②認知件数の増減(県の数)

県数	
認知増県数	8
認知減県数	38
計	46

③回復率の増減(県の数)

県数	
回復率ダウン	21
回復率アップ	25
計	46

編集・発行

〒170-0005

東京都豊島区南大塚2-25-15 South 新大塚ビル7F

TEL : 03-6902-8190 FAX : 03-6902-8195

ホームページ : <http://www.jmpsa.or.jp>

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
